

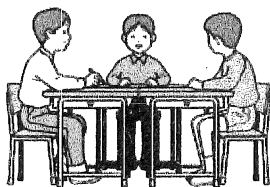
これからの岐宿中学校 ～重点的な取組～

学校生活も2週目となり、校舎内では号令の声、発表の声、説明の声、歌う声など“授業の声”が響き渡るようになりました。感染症対策の影響で平常とまではいかないものの、学校が学校らしく賑やかに歩き始めています。

今回は令和2年度岐宿中学校の重点的な取組を3つ紹介します。



キャリア教育の推進



キャリア教育とは、職業学習や進路学習だけではなく、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることです。

岐宿中学校は、学ぶことの意義を見いだすキャリア教育を推進します。そのために、学ぶ意欲を喚起する授業づくりに努め、生徒の「求める心」と教職員の「導こうとする心」が行き交う活気のある学校を目指します。

コミュニティ・スクールの導入

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みのことです。学校運営協議会制度とも言います。



保護者代表や地域住民等で構成された学校運営協議会は学校の運営に関することについて教育委員会にも意見を述べることができ、校長と協力しながら学校運営に参画できます。

岐宿小学校では既に導入済みです。今後は岐宿小学校と岐宿中学校、学校運営協議会が連携、協働して「岐宿の宝」である子どもたちの未来を支えることとなります。

通級指導教室の開設

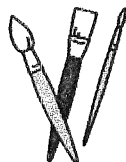
本年度より岐宿中学校に通級指導教室が開設されました。五島市内の中学校では、2校目となります。通級指導教室とは、通常の学級において、よりよい学校生活ができるよう支援していくことをねらいとした教室です。通常の学級での学習におおむね参加できて、少しでも特別な教育支援が必要な生徒達に、その生徒に合った指導（特性に応じた学び方の習慣、コミュニケーション力を高め対人関係を育む、自己理解を深め自己調整力を高める）を行うことを目的に設置される教室です。その教育効果は高く全国的に需要が高まっています。

詳細については『通級指導教室について』（配布済）をご覧ください。

ごあいさつが遅れました

～ よろしくお願ひします。～

この度の異動で岐宿中学校に勤務することになりました入口兵衛と申します。これまでの勤務歴は福江中→久賀中→奈留中→郡中（大村）→福江中→翁頭中→三井楽中→五島市教委→長崎県教委です。教科は美術科で油絵が専門です。学生時代はサルバドール・ダリに憧れて非現実的な絵ばかりを描いていましたが、ある日『となりのトトロ』を観てからはジブリ風になりました。



もう何年も描いていませんが、美しい自然に囲まれた岐宿中学校にいますと、絵の具を出してみようかなという気持ちになっています。

校長としては新任であり、学校現場での勤務も5年ぶりとなります。まずは、保護者や地域の方々のご支援を得ながら82名の生徒に全力を注ぎたいと思います。